

かみねっちょ新聞

令和4年 7月号

5月28日から、はちゅうい館で「ミヤコカナヘビ」の展示が始まりました！ミヤコカナヘビは沖縄県の宮古諸島に生息するトカゲの仲間（カナヘビはヘビじゃないよ）です。皆さまには何気ないニュースかもしれませんが、実はスゴイことなんです！ミヤコカナヘビを見ることができるのは全国でもかみね動物園を入れて3園館しかありません！

「絶滅の危機に瀕した幻のトカゲ！」

ミヤコカナヘビはかつてちょっとした草むらで普通に見られたそうですが20~30年の間に大幅に数を減らし、環境省のレッドデータブック（絶滅の恐れのある生物をランクごとにまとめた本）では絶滅危惧IA類にリストされました。IA類は最も絶滅の危険が高いランクで、爬虫類は全国でも4種しかおらず、そのうちの1種がミヤコカナヘビです。その生態は謎が多く減少の原因もはっきりとわかっていません。そこで、環境省と日本動物園水族館協会が協力してミヤコカナヘビの保全に乗り出しました。



「生物の進化だけでなく日本の成り立ちを解き明かす鍵になるかも！」

ミヤコカナヘビは沖縄本島や奄美諸島に生息しているアオカナヘビと同種と考えられていましたが、1996年に新種として登録されました。2000年代初頭にDNAによるカナヘビ類の類縁調査が行われ、その結果、ミヤコカナヘビは日本に生息するカナヘビよりも、台湾や中国本土に生息するカナヘビたちに近い種類であることが判明しました。沖縄には3種類のカナヘビが生息していますが、なぜミヤコカナヘビだけが系統が異なるのか、生物の進化だけでなく宮古島の成り立ちを知る重要な鍵となる可能性を秘めています。



ミヤコカナヘビ

学名 *Takydromus toyamai* 英名 Miyako grass lizard
分類 有隣目カナヘビ科 分布 日本固有種(宮古諸島)

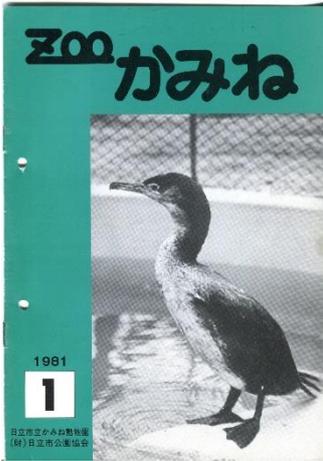
全長約30cmで体の4分の3ほどもある長い尾が特徴的なトカゲの仲間。よく似たアオカナヘビとは腹面の鱗の列が8列であること(アオカナヘビでは6列)、体の背面、側面の色が雌雄ともに明るい黄緑色で白線が入らないこと(アオカナヘビでは雌雄ともに白線があり、オスは茶色い帯も入る)から区別される。草地、林縁部、民家周辺などに生息する。

絶滅の危機に瀕したミヤコカナヘビを守るために動物園水族館と環境省、宮古島関係者の方々が一体となって取り組んでいます。ミヤコカナヘビの美しさや面白さを知ってもらおうと共に、彼らのおかれた状況や保全のために私たちに何ができるのかを考えてもらえればと思います。

飼育員 なかもと



機関誌「ZOO かみね」の アンケートを実施します



1981年に初号を発行以来、様々な情報をお伝えしてきた「ZOO かみね」。
次号は記念すべき50号を迎えます。
少し特別なものにしたいという思い、また、今後さらに良い機関誌にしていくため、皆様のご意見をいただけたらと思っています。ご協力をお願いいたします。



Google フォームにてアンケートを実施します。
左のQRコードを読み取って回答をお願いいたします。
アンケートアドレス <https://forms.gle/vEvVsBahAAU3X1ZNA>

1号～12号はHPにてご覧いただくことができます。

8月の予定

- ・6日(土)～28日(日) 夏の企画展「身近な生き物展」
- ・11日(木)～15日(月) 夜の動物園

詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください
または 0294(22)5586 まで



「ただのどうあそびじゃないんです」 さく・なめかみね



ほかにも どうあそびすることでサンパ工などがつくのをいせぐ ころかもあるそうです!



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Twitter



Facebook



新猛獣舎 OPEN!!

いよいよ7月23日に新猛獣舎が
オープン!!
イベントも開催します!!
新たな仲間も増えます!!

7/23(日)



©静岡市立日本平動物園